

ミヤコトップ

Miyako-

ミヤコカブリダニ剤

Top

www.agrisect.com



辛抱強い待ち伏せ型天敵

ミヤコトップは、ハダニ類の捕食性天敵であるミヤコカブリダニをボトルに封入した天敵製剤です。放飼したミヤコカブリダニは、葉裏に寄生するハダニ類を探索し、ハダニ類の成虫や若虫、幼虫、卵を捕食します。また、餌となるハダニ類がないときは、花粉などを餌として生活し、ハダニ類を待ち伏せします。



ミヤコトップ

発生前の導入が効果的！



ミヤコトップ導入例



ミヤコカブリダニ



ナミハダニ



ナミハダニによる被害

捕食！

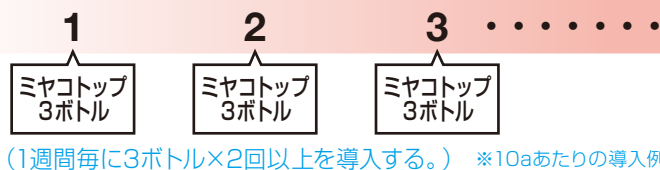
導入のタイミング

スケジュール放飼の場合

開花後、早めの放飼がおすすめ。
※ハダニ類の発生に応じて追加放飼してください。

定植

開花後



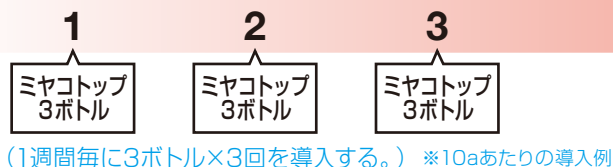
ハダニ類初期発生後に放飼する場合

ハダニ類の発生に注意し、初期発生時に圃場全体に放飼する。このとき、ハダニ類が目視できた場所に多めに放飼すると効果的。

定植

目印をつける

ハダニ発生確認



※ミヤコトップ導入後、ハダニ類発生場所にミヤコカブリダニの定着が確認できます。

商品詳細

商品名：ミヤコトップ

種類名：ミヤコカブリダニ剤

製品規格：2,000頭/250mlボトル（その他の成分の鉱物質は石綿不検出）

学名：Neoseiulus californicus

（農林水産省登録第22894号）

ミヤコトップについて



写真: ミヤコカブリダニ成虫

有効成分の種類: ミヤコカブリダニ

含有量: 2,000頭/250mlボトル

その他の成分: 鉱物質 (石綿不検出)

※第1、第2若虫および成虫を合計2000頭以上封入しています。

農林水産省登録第22894号

適用表:

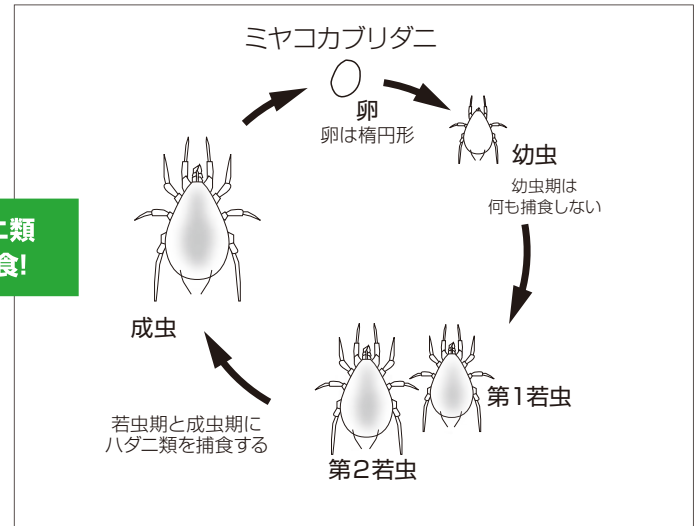
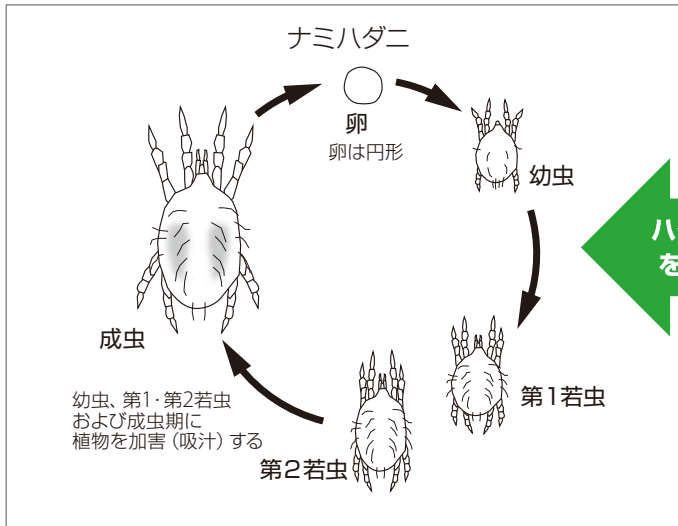
作物名	適用病害虫名	使用量
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	約2,000～ 6,000頭/10a

ミヤコトップ導入のタイミング

●ハダニ類の発生が確認されたら導入。

※スケジュール放飼の場合はハダニ類が発生する前に導入。

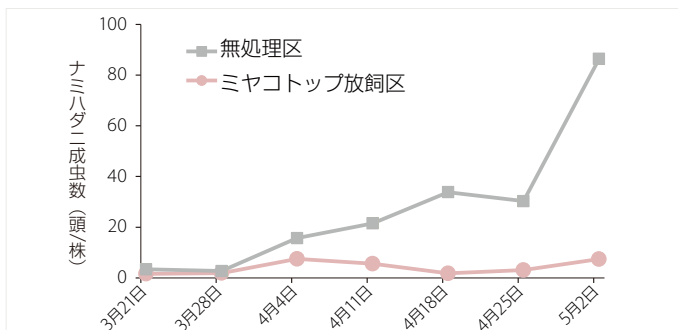
■虫を知る 害虫とその天敵の生活サイクルを知りましょう。



体長	雌成虫 約0.6mm
ライフサイクル	卵→幼虫→第1若虫→第2若虫→成虫 ※卵以外の全発育ステージで植物を加害する。
発育期間(卵～成虫)	約10日(25℃環境下)
増殖方法	雌1頭からでも増殖が可能
被害	一般的に植物の葉裏に寄生し、吸汁する。多発生すると、クモの巣状の糸を分泌して寄生植物を覆い、植物を枯死させることもある。葉や花弁の裏に寄生する。

体長	雌成虫 約0.35mm
ライフサイクル	卵→幼虫→第1若虫→第2若虫→成虫 ※捕食活動を行うのは、第1・第2若虫および成虫
発育期間(卵～成虫)	約5.5日(25℃環境下)
捕食対象	多種のハダニ類を捕食する。また、ハダニ類がいない場合は、作物の花粉を食べて生存することができる。ハダニ類の卵から成虫までの全発育ステージを捕食する(卵を好む)。
雌成虫の平均捕食数	1日当たりハダニ卵で10個、若虫で20頭、成虫で5頭(26℃環境下)

■試験例: ハダニ類に対する防除効果



試験地: 奈良県農業総合センター(2008年)
害虫発生状況: ナミハダニ(黄緑型) 少発生
作物名: イチゴ(品種: アスカルビー、定植: 2007年9月12日)
ミヤコトップ放飼数: 6000頭/10a
放飼月日: 2008年3月21日、3月28日、4月4日

■こんな農薬が併用できます

農薬名	ミヤコカブリダニへの影響	適用作物
カネマイトフロアブル	0日	いちご、きゅうり、すいか、なす、ピーマンなど
サフオイル乳剤	乾燥後影響ない	野菜類
スターマイトフロアブル	卵・雌成虫にはほとんど影響ない	いちご、きゅうり、すいか、なす、ピーマンなど
ダニサラバフロアブル	卵・雌成虫にはほとんど影響ない	いちご、きゅうり、すいか、なす、ピーマンなど
マイトコーネフロアブル	0日	いちご、きゅうり、すいか、なす、ピーマンなど

※注 薬剤使用の際は必ず薬剤容器等に記載されている内容を再確認してください。

2018.10

お問い合わせ・ご注文は

販売元